



南郷地区まちづくり計画

Nangou area master plan

～住んでいることに幸せを感じられる南郷地区～



2022年4月

掛川市 南郷地区まちづくり協議会



南郷地区まちづくり計画 目次

■ あいさつ文

南郷地区まちづくり協議会
会 長 守屋 輝年雄 1

掛川市長 久保田 崇 2

■ 第1部 基本計画

第1章 計画の目的と背景 4

- 1 まちづくり計画の目的
- 2 まちづくり計画の背景

第2章 まちづくりの理念 5

- 1 まちづくりの理念
- 2 ビジョン（目標・将来像）
- 3 計画の実現に向けて

■ 第2部 分野別計画

第1章 企画運営 9

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第6章 交通安全 17

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第2章 地域振興 10

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第7章 環境美化 18

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第3章 健康福祉 12

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第8章 学習センター 20

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第4章 教育文化 13

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第9章 計画の実現に向けて 21

第5章 防犯防災 15

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

参考資料

- 1 「南郷地区まちづくりアンケート」集計結果 . . . 24
- 2 南郷地区まちづくり協議会の設立経過
- 3 南郷地区自治組織の相関図
- 4 南郷地区まちづくり協議会組織図
- 5 施策体系図 ～ビジョンと実践目標～

表紙のロゴマークは、南郷地域生涯学習センターの用地内にある推定樹齢400年のスダジイの椎の実を、南郷地区まちづくり協議会のシンボルマークとしてデザイン化したものです。

殻斗の3色は、赤が情熱、青がコミュニケーション（絆）、黄色が幸せを表しています。



新たな時代に沿った 協働によるまちづくりを目指して

南郷地区まちづくり協議会

会 長 守屋 輝年雄

平成27年に南郷地区まちづくり協議会を設立し、各部会での事業活動も7年が経過しました。この間、新しい自治区（紅葉台）の発足や学習センターの当協議会への編成などがあり、このたび各部会の協力を得て、南郷地区まちづくり計画の見直しを行いました。これまで当地区のまちづくり事業の推進にご理解とご協力をいただいた皆さまに、あらためてお礼申し上げます。

掛川市は、昭和54年に全国に先駆けて「生涯学習都市宣言」を行い、市民一人ひとりが充実した生きがいと、郷土への誇りと愛着をもてるまちづくり構想を提唱しました。単に教養や自己充実の勉強をするだけでなく、自分が住む地域のことをよく知り、その特色を誇りに思い、まちづくりを推進することで「我がまちを良くすることによって、我が人生も良く(豊かに)する」というものです。

平成25年に掛川市自治基本条例が施行され、南郷地区はモデル地区の一つとして、協働によるまちづくり事業をスタートしました。これまでも、地域の環境美化や自主防災の活動など、様々な協働事業がありましたが、この協働を更に進めていくために、市民、市議会、行政等がお互いを尊重し、課題解決のために対等な立場で連携協力する“新たな協働”で対応していくことになりました。地域のことは、地域が主体となって、自らの将来の姿を自ら決め、行動していくことが基本となっています。まちづくりに関わり、人から感謝されたり、自分の考えが実現することは、周囲を幸せにするだけでなく、自身の喜びや生きがいにも繋がります。これは、掛川市生涯学習都市宣言そのものです。

さて、南郷地区まちづくり協議会では、これまで多くの関係者によってエネルギーに満ち溢れ、数多くの事業が実施されてきました。しかし、事業の賑わい(密の状態)こそが成功や活性化の原動力と考えてきたことが、コロナ禍で一気に崩れてしまいました。これからは新しい生活様式や価値観に基づく、量(密)から質に目線を向けた、まちづくりへと転換しなければなりません。急速に進むデジタル化社会にも対応し、より成果のある事業に絞り込み重点化を図るなど、常に改善をしながら、生涯学習の理念に基づいたまちづくりを推進してまいります。

今後も、南郷地区内の諸団体と連携を図りながら、「住んでいることに幸せを感じられる南郷地区」の地区ビジョンの実現を目指してまいりますので、引き続き皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



南郷地区まちづくり協議会への期待

掛川市長 久保田 崇

南郷地区まちづくり協議会のみなさまにおかれましては、日ごろ、掛川市の協働によるまちづくりの推進にご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、昨年は旧河井家離れの耐震化工事を経て「弥八庵」として開所するなど、南郷地区の住民のみなさまが、自らの地域をさらに良い地域にする取り組みや、まちづくり計画の改定に熱心に取り組まれたことに深く敬意を表します。

さて、今私たちを取り巻く環境は、新型コロナウイルスによる影響もあり、リモート化やデジタル化が急速に進んでおります。こうした変化の激しい時代にあって、私たちは、その変化にスピードと柔軟性をもってしっかりと対応し、持続可能なまちづくりを推進していく必要があります。

まちづくりを進めていくうえで重要なことは、互いを尊重しあい、ともに話しあうことだと考えています。掛川市がこれまで培ってきた「報徳の精神」や「生涯学習の理念」を根幹に、市民・企業・行政などがそれぞれの役割や強みを意識しながら積極的に『本音の対話』を重ねることで、まちのさまざまな課題に取り組むとともに、心豊かな人づくりにつなげることができます。

このようなまちづくりを目指すうえで、柱となるのが地区まちづくり協議会であります。いち早く地区まちづくり協議会を立ち上げた南郷地区のみなさまには、掛川市のまちづくりを牽引していくモデル地区として、すべての人にやさしく持続可能なまち、国籍、性別、年齢等多様性を認め合うまちを実現していただくとともに、地域のことを「自分ごと」として捉え、地域住民が主体となって行動し、または、企業や市民活動団体、行政と協働で課題解決にあたるといった市民主体のまちづくりに積極的にチャレンジしていただけることを期待しております。

結びに、南郷地区まちづくり協議会が市内全地区のモデル地区としてますます発展し、市とともにまちづくりを担う主体として、さらにご活躍いただくことをご期待申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第1部 基本計画

第1部 基本計画

第1章 計画の目的と背景

- 1 まちづくり計画の目的
- 2 まちづくり計画の背景

第2章 まちづくりの理念

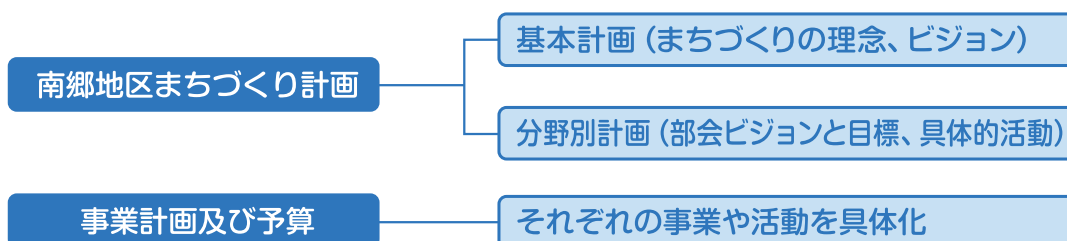
- 1 まちづくりの理念
- 2 ビジョン（目標・将来像）
- 3 計画の実現に向けて



旧河井邸離家「弥八庵」（書：原 朱邑）

①まちづくり計画の目的

南郷地区まちづくり協議会が策定する「まちづくり計画」は、私たち地域住民が主体となって、市と連携しながら行う南郷地区の、まちづくりに向けた基本的な指針となるものであり、地区のまちづくりにかかる行動計画として位置づけられるものです。本計画は、基本計画と分野別計画で構成されており、基本計画では基本となるべきまちづくりの理念とビジョンなどを設定し、分野別計画ではそれぞれの課題と目標、施策や具体的活動内容などを設定するほか、計画実現に向けて心掛けるべき事項などを示しています。



まちづくり計画の計画期間を概ね10年間に設定するとともに、約5年後には必要に応じて見直し作業を行うこととします。また、具体的には毎年策定する各年度の事業計画及び予算において実施内容などを示していくこととします。

②まちづくり計画の背景

南郷地区は掛川市のほぼ中央、JR掛川駅の南東に位置し、地区の北側は東海道線・東海道新幹線が並行して走り、南側には東名高速道路掛川ICが地区のほぼ中央にあり、かつては水田と茶畑に囲まれた、のどかな農村地帯でした。その後、区画整理等が行われ、これまであった水田は宅地へと変貌し令和3年4月1日現在の9自治区における外国人を含む世帯数は2,869戸（一般住宅46.7%、集合住宅53.3%）、人口6,586人の地区へと発展しました。

地区の南側には、陣場峠の古戦場があり掛川市内を一望ことができ、遠く富士山や南アルプスの一角、火防の秋葉山や北遠の名峰竜頭山を望むことができる風光明媚な地区でもあります。地区内には、静岡県立掛川工業高等学校や掛川税務署等の公共施設がありますが、平成27年春には、旧掛川市立総合病院の跡地約8ヘクタールに、医療・介護・福祉・保健・教育の各施設が希望の丘と命名しオープンしました。一つのエリアに、こうした多様な施設がまとまり、事業展開が図られるのは、



ドローン空撮による南郷地区（中央は希望の丘）

全国的にも初の試みであり注目され期待されています。

南郷地区の歴史は、南郷歴史クラブ編纂による郷土誌「南郷」に詳述されていますが、南郷村の名称が初めて歴史に登場するのは、明治21年に町村制が公布され、県が告示した時とされています。また、同誌の巻頭で「ここを郷土とする人達の生活も、世相の変化と同様に変わったが、心の中には祖先の営みが刻み込まれている。その沿革と歴史が、そこに住む人と結びついて郷土の温かみとなり深みとなって、さらに郷土への愛情も生まれ育まれる」とあり、その精神は受け継がれ平成24年春に新設された南郷地域生涯学習センターを拠点として、さまざまな活動が活発に展開されています。



南郷地域生涯学習センター

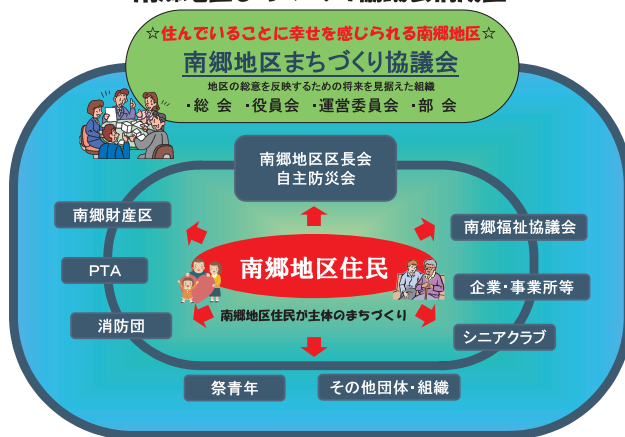
南郷地区の歴史を語るとき、忘れてはならない郷土の偉人がいます。それは、静岡県議会議員を2期、衆議院議員を3期歴任し、東海道本線の掛川への誘致や南郷尋常小学校を設立した河井重蔵翁と、その御子息である宮内省の侍従次長や参議院議長を務めた河井弥八氏であります。河井弥八氏の足跡は、同氏の邸宅跡に建てられた南郷地域生涯学習センターの敷地内に、同氏のお蔵を改造した河井弥八記念館として保存、展示されています。また、旧河井邸離れは耐震化工事を経て、令和3年10月に「弥八庵」として開所しました。

南郷地区まちづくり協議会は、平成25年4月に掛川市自治基本条例が施行され、協働のまちづくりのスタートに合わせ、掛川市から指定された三つのモデル地区の一つとして、平成27年2月14日に設立しました。

南郷地区では、これまで区長会や地区福祉協議会などの組織を中心に様々な活動が行われてきましたが、これからは地域でできることは地域のことをいちばん良く知っている地域の人々が、様々な組織・団体・企業等と協働して、地区のまちづくりを進めます。

ここに、地区の将来を見据え、地域の課題を把握して、様々な対策を講じ、区民が望むまちづくりを進めるため、南郷地区まちづくり計画を策定しました。

南郷地区まちづくり協議会構成図



第2章 まちづくりの理念

まちづくりの理念、ビジョン

①まちづくりの理念

南郷地区まちづくり協議会が進めるまちづくりに向けて、次の理念を設定しました。

温もりのあるまち

核家族化の進展が少子高齢化に拍車を掛け、他人を思いやるところが希薄化しています。人は、一人では生きていけません。物は豊かでなくても、話す場があり話す人がいれば、日々満ち足りた生活を送ることができます。人の幸せとは何か。それは人々が健康でお互いを思いやり、役立ち合い支え合って、自らの存在を感じながら生きることでないでしょうか。自分が幸せでありたいと願えば、

他人も幸せでなければなりません。そのために尽くすことが、そのまま自分の幸せにつながるからです。

協議会では、住民が幸せを感じ、住んでいて良かったと思える地域を目指して、住民相互の絆を深め、住民一人ひとりの力が活きる様々な事業を進めていきます。

減災力のあるまち

南郷地区の宅地は、約6割強が軟弱地盤です。科学的見地から、震度7クラスの東海・東南海・南海地震の起こる確率は限りなく高く、尊い人命を守る上からも大地震への減災対策が必要です。また、安全で安心した生活を送るためには、交通事故を起こさない・交通事故に遭わないための取り組みや、防犯意識の向上も図らなければなりません。人は、安全・安心な地域環境があって、はじめて幸せを実感することができます。協議会では、安全・安心なまちづくりを最優先に考え、様々な事業を進めていきます。

美しさのあるまち

私たちは、日常のさりげない風景の中にある、一輪の花に感動を覚えます。美しい景観は、人のところにやすらぎを与え、慈しみのこころを育みます。それは、大自然にかぎらず、人工的な景観であっても同様です。協議会では、住民の全てが思いを一つにし、美しい景観の保全と環境の改善・維持・管理を進めていきます。

②ビジョン（目標・将来像）

南郷地区まちづくり協議会が進めるまちづくりに向けて、次のビジョンを設定しました。

〈地区ビジョン〉

～住んでいることに幸せを感じられる南郷地区～

地域コミュニティが求める地域の姿、それは住民一人ひとりが、豊かで充実した暮らしを営み、南郷に住んでいて良かったと思われるようなまちづくりを進めることです。南郷地区の風土や歴史・文化が育んだ人々の暮らしを見つめ直し、新たな視点でまちづくりを考えていきます。

〈部会ビジョン〉

私たちは、地区ビジョンを達成するために、分野別の8つの各部会がそれぞれの部会ビジョンを策定してまちづくり計画を立て、具体的な事業を推進していきます。



河井弥八記念館

絆と生きがいづくりのまち南郷

私たちは、日々楽しく有意義な生活をおくるためには、生きがいを持って周りの人と支え合っていかなければなりません。そのためには、強い絆が必要です。様々な場と機会をとらえ、絆づくりを進めていきます。

あいさつと笑顔が溢れるまち南郷

住んでいることに幸せを感じる時、それは、人情の温かさに触れ、人と共に自らも活かし活かされていると感じる時ではないでしょうか。一日のはじまり、それは元気で明るいあいさつから始まります。明るいあいさつと、笑顔があふれるまち、なんとなく楽しいと思いませんか。これから、皆で明

るく楽しいまちをつくり上げていきます。

健康長寿で役立ち合い支え合うまち南郷

人間にとって健康は、全ての源です。人の高齢化は、避けられませんが、それぞれのライフステージで、お互いが役立ち合い支え合うことで、生きがいも生まれ、希望も生まれます。高齢化が進む社会、それは世代を越えて支え合う必要があります。私たちは、そのためのまちづくりを進めていきます。



陣場峠 看板

学び高め合い伝え合うまち南郷

まちづくりは、人づくりでもあります。地域の歴史や文化は、ひもとき学んで次世代に引き継ぐ責務があります。郷土を愛する子どもたちを、地域で育てていくことが必要です。人生の豊かな経験と、豊富な知識・洞察力を持った大人たちの出番です。南郷地区の明るい未来につづくまちづくりを、みんなで作って上げていきます。

安全・安心で住みよいまち南郷

安全で安心な生活空間が保たれてこそ、住みよいまちづくりが実現できます。犯罪を未然に防ぐ取り組みと、被害を最小限に抑える減災への取り組みは、南郷地区の最大の課題です。災害から尊い命を守るためには、災害が起こってからでの取り組みよりも、災害が起る前の減災への取り組みが、より効果があります。向こう三軒両隣の強い絆づくりと、家屋の耐震化・家具の固定化等、減災への取り組みを進めていきます。

無事故・無違反で明るいまち南郷

交通安全は、全ての人の願いです。交通事故に遭わない、起さないための取り組みを進め、明るく住みよい南郷地区をつくり上げていきます。

美しい環境の安らぎのあるまち南郷

思いやりとやさしいところは、美しい環境の中で育まれます。住民の知恵と工夫で、安らぎのあるまちをつくり上げていきます。

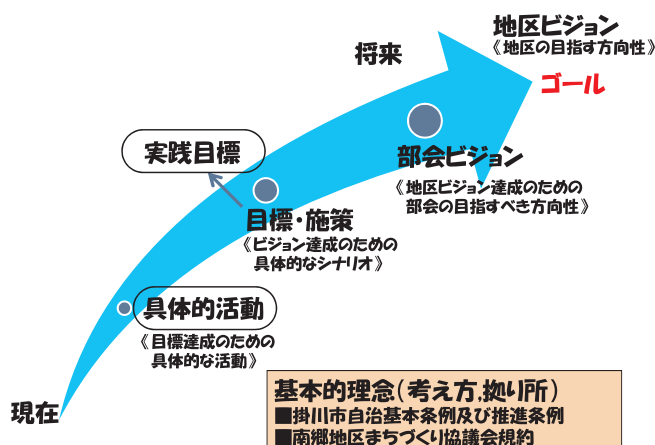
生涯学習で人生を豊かにするまち南郷

私たちは、健康長寿で生きがいを持ち、充実した暮しができるように生涯学び続けます。そして、学びによって自己を高めた区民は、自分の住む地域を豊かにするために、学んだことを生かしていきます。

ビジョンのイメージ図

③計画の実現に向けて

この地区まちづくり計画は、多くの地域住民の意見や組織・団体の参画を得て、まちづくりを進める協議会自らのルールとして策定しました。計画の実現に向けては、さらなる住民の皆様の参画と協力を得て、南郷地区のまちづくりビジョン達成のため、遅くとも着実な活動を進めることにより、次世代に引き継いでいきます。



第2部 分野別計画

第2部 分野別計画

第1章 企画運営

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第2章 地域振興

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第3章 健康福祉

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第4章 教育文化

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第5章 防犯防災

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第6章 交通安全

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第7章 環境美化

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第8章 学習センター

- 1 地域の課題
- 2 部会ビジョン
- 3 目標および具体的活動

第9章 計画の実現に向けて

①地域の課題

南郷地区まちづくり協議会は、区長会、その他諸団体と連携しつつ、南郷の良い点をさらに伸ばし、地域の抱える課題を的確に把握し解決していくことが求められます。そのためには、南郷地区の状況や情報が素早く行き渡り、8つの各部会が互いに機能し合って活動を進めていくことが求められます。

企画運営部は、各部会との連携を図りながら協議会のスムーズな運営に努めていきます。そのためには、様々な実態を把握し、長期的視野に立って施策を推進させる必要があります。さらに、まちづくり協議会に進んで参画する人材の掘り起こしや人づくりも大事な課題です。

②部会ビジョン

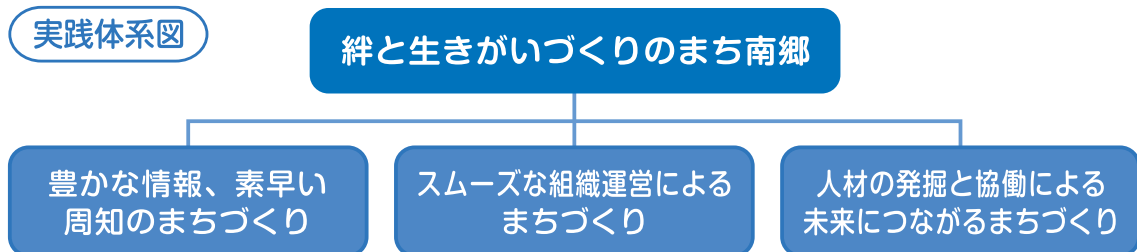
～絆と生きがいがづくりのまち南郷～

絆と生きがいは、地域を守り発展させる大切なキーワードです。南郷地区は一部農業の世帯もありますが、多くがサラリーマン世帯で最近では高齢化も進み年金生活者が増えてきました。ともすると人間関係が希薄になりがちです。こうした中で地域の多様なニーズに応え、地域をまとめるためには「絆と生きがいがづくり」がまちづくりの原点です。地域の情報を的確に把握し共有して、災害にも強い絆をつくることを目指します。そのためには、まちづくり協議会の組織が中心となり、住民の声や各部の要望を反映した組織運営が求められます。



たけのご掘り

「組織は人なり」のことばのとおり、活動がどのように行われるかは、人にかかっています。一人ひとりが地域社会の一員として、楽しく、いきいきと、生きがいを持って暮らしていくことが大切です。



③目標及び具体的活動

豊かな情報、素早い周知のまちづくり

地域住民が、「まちづくり」のねらいや、住みよいまちづくりに様々な分野で活動している取り組みの様子を知ることは、小さな力であっても自らも参加しようという意欲につながります。また、南

郷地区の一体感を醸成するために、福祉協議会と学習センターでそれぞれ発行していた広報紙を「ふれあい南郷」に統合し効率化と内容の充実を図ります。さらに、南郷地区まちづくり協議会のホームページを立ち上げ周知の幅を広めていきます。

《具体的活動》

- ①広報紙「ふれあい南郷」の発行
- ②区民に親しまれる「ふれあい南郷」の内容充実
- ③ホームページにて情報発信



スムーズな組織運営によるまちづくり

まちづくり協議会の組織がスムーズに運営できるために、企画運営部は各部会との連携を図りながら、協力し合って機能するようサポートしていかなければなりません。まちづくりについての理解を深めたり、必要に応じて勉強会や講演会を企画し、さらに先進地視察等を計画して、より確かなまちづくりを目指します。

《具体的活動》

- ①まちづくり協議会各部会との連携強化
- ②まちづくりについての学習会や講演会の企画
- ③先進地研究や自己研鑽

人材の発掘と協働による未来につながるまちづくり

「組織は人なり」と言われます。自分たちのまちを住みよいまちにするために、生きがいをもって関わる人を増やしていくことが大切です。人材の発掘はまちづくり協議会の大きな使命の一つです。豊かな知識と経験を持つ人や自主的な活動ができる人材を公募し、適材適所での活躍を期待します。

《具体的活動》

- ①人材の発掘と活用
- ②まちづくり活動への参加者拡大のためのPR活動

第2章 地域振興

あいさつと笑顔が溢れるまち南郷

①地域の課題

南郷地区は、区画整理による宅地開発で大きく発展をし、人口が大幅に増加し住民相互の意識が希薄化しています。一方、少子高齢化・人口減少の時代の中で、子育て世代が安心して暮らせるまちづくり、未来を担う若い世代がリードするまちづくり、高齢者が生き甲斐をもって活躍できるまちづくりの実現が課題です。

②部会ビジョン

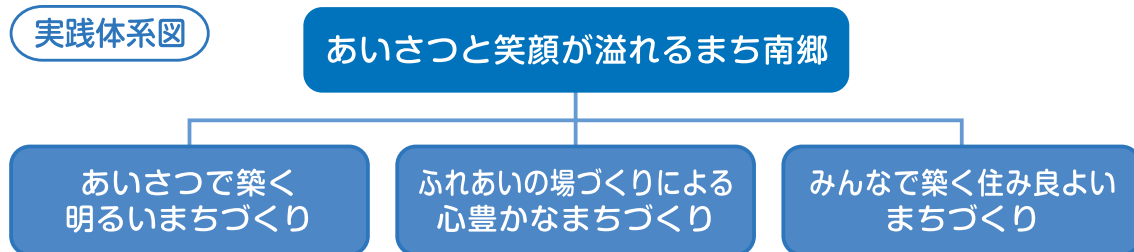
～あいさつと笑顔が溢れるまち南郷～

地域の活性化は、一人ひとりが、自ら地域に関わり、



新年の集い

地域を考え、多くの住民と会話を交わす中から実現します。地域コミュニティを築くはじまりはあいさつであり、「あいさつの声かけ運動」を通じて、住民どうしの交流の輪を広げていきます。さらに、多くの住民が参加したいと思える場や、ニーズに合わせたふれあいの場をつくり、心豊かなまちづくりを目指します。



③ 目標及び具体的活動

あいさつで築く明るいまちづくり

地域を心豊かなまちにするためには、一人ひとりが地域と地域住民に関心を持ち、笑顔で会話を始めることから生まれます。その第一歩はあいさつであり、子どもから大人まで、誰にも気持ちよくあいさつができるよう、「あいさつの声かけ運動」で明るいまちづくりを目指します。見知らぬ人へもこちらからあいさつをします。

《具体的活動》

- ① あいさつの先取り
- ② 登下校の小中学校生にあいさつの積極的な声かけ

ふれあいの場づくりによる心豊かなまちづくり

多くの住民が、進んで地域活動に参加し、楽しく過ごしたり、元気に活躍する場を作ることで、生きがいを感じられる心豊かな地域を目指します。特に、子どもたちや子育て世代が家族ぐるみで参加でき、女性や若い世代の人たちにも魅力ある場をみんなで作ります。

《具体的活動》

- ① 新年の集い
- ② 子ども・女性や若い世代の育成



カレンダーの作成
(あいさつ運動などの応募ポスター)

みんなで築く住みよいまちづくり

南郷地区は交通の利便性は高いものの、商業施設や公共施設が十分とは言えず、さらに障害者や高齢者にとっての配慮も十分とは言えず、不便さを感じています。このため住みよいまちづくりのための小委員会を設置し、議論を深めます。

《具体的活動》

- ① 小委員会の設置
- ② 公園の活性化

①地域の課題

社会の高齢化が急速に加速していく中、南郷地区では、「健康長寿で役立ち合い支え合うまち」を目指します。健康長寿の秘訣は、適切な運動、栄養、社会活動への参加ともいわれています。

誰もが健康で長生きし、幸せに暮らしたいと願っています。現在、地区を見渡すと、家に引きこもりがちの人、友だちもなく寂しい思いをしている人、運動不足で健康に問題を抱えている人などが見られます。

また、アンケートによると、高齢者になっても住みよいまちであってほしい、高齢者同士の交流の場を多くしてほしいという願いも見られます。宅地開発により他地区からの転入者が多いことから、交流の場づくりが重要となっています。

一人ひとりが健康に心掛けることはもちろんですが、住民同士役立ち合い支え合って、心と体の健康づくりに取り組めるような仕組みづくりが必要です。



健康サロン

②部会ビジョン

～健康長寿で役立ち合い支え合うまち南郷～

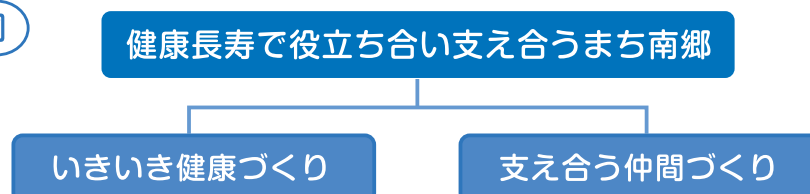
住民それぞれが、地域社会の一員として、健康で楽しく、いきいきと生きがいをもって暮らしていきたいと願っています。その意味では、支える側、支えられる側という視点ではなく、互いに役立ち合い支え合う活動を行う、という視点が大切です。

温かな思いを寄せ合い助け合い、年齢や男女などの区別なく共に活動し、安心して元気に暮らせる福祉のまちを目指します。



健康増進体操

実践体系図



③目標及び具体的活動

いきいき健康づくり

住民一人ひとりが生きがいを持って、いきいきと心身とも健やかに暮らせるよう交流や運動の場

をつくり、身体機能維持、認知症予防のためのトレーニングを実施し、健康維持や生活改善を目指します。

《具体的活動》

- ①身近な場所で楽しみながら健康増進体操の実施
- ②誰でも親しめるスポーツの普及と促進（歩け歩け運動など）
- ③健康維持・生活改善の啓発活動の実施



歩け歩け運動

支え合う仲間づくり

家族の姿の多様化等によって、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、ひとり親世帯、障がい者世帯等、生活上気にかかる家庭が増加しています。こうした人達を見守ったり、手をさしのべたりすることのできるのが地域社会です。誰もが、安心して暮らすことのできる地域社会実現のための仕組み作りに取り組みます。

《具体的活動》

- ①高齢者同士の交流の場として健康サロン（脳トレ）の実施
- ③希望の丘との交流



生活改善講座

第4章 教育文化

学び高め合い伝え合うまち南郷

①地域の課題

南郷地区の発展のためには、将来を担う子どもたちや若者たちが南郷を愛し、この南郷にずっと住みたいという大人に成長していくことと、大人も地域のことを学ぶことが大切です。

そのために、子どもたちには地域を愛する環境づくりが必要であり、大人も常にこのことを考え、学び自らも成長していくことが必要です。そして、常に世代間交流の場を設定し、子どもたちの育成はもとより、若者たちの地域活動への参加を促し、地域に貢献する人材発掘・育成を行っていく必要があります。

南郷地区は、これまで9つの自治区が一体となって活動し発展してきました。その過程で培われてきた財産は『南郷は一つ』という言葉に凝縮されています。その南郷地区の伝統と文化を継承していく必要があります。



小学生広場「コリントゲーム作り」

②部会ビジョン

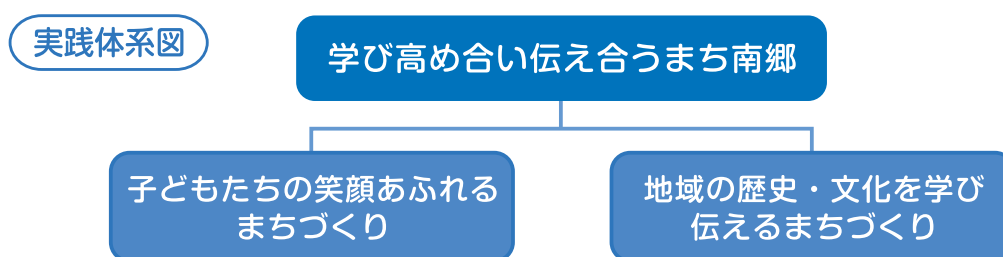
～学び高め合い伝え合うまち南郷～

南郷地区は、南郷村当時の農村地帯から着実な発展を遂げ、人口が増加した比較的新しく形成された地域です。育った環境の違う人達が、南郷地区として思いを一つにし、ともに高め合うためには、この地域の歴史や文化、人物を学ぶことが大切です。

若者や子どもたちは、知識や経験豊富な地域の人達から学び、大人たちも子どもたちと共に学び高め合うことで、明るく活力のある未来につながる南郷地区を目指します。



小学生広場「カレー作り」



③目標及び具体的活動

子どもたちの笑顔あふれるまちづくり ～掛東学園活動の推進～

「地域を愛することは、地域を知ること」という言葉があります。南郷地区の将来を担う子どもたちが、地域の人・もの・ところを知ることが、南郷を愛することに通じます。まずは、地域の大人たちとの交流の場を設定し、地域の大人たちとの交流を進める中で、子どもたちに「ほくやわたしのふるさと南郷」の意識を高めていきます。そうした取り組みは『掛東学園子ども育成支援協議会』が願う子ども像、「地域の子どもや大人に進んでかわり、やさしさいっぱいの子」「地域の将来を考え、担っていくことのできる子」「地域の豊かな自然、文化、伝統、行事を大切にする子」の育成に直結するものです。

《具体的活動》

- ①子どもと大人の交流の場づくり
 - ・南郷文化祭・読み聞かせ
- ②子どもたちが自ら担う場づくり
 - ・小学生広場

地域の歴史・文化を学び伝えるまちづくり

南郷地区には、平成2年6月に「南郷地域生涯学習センター」が設置され、地域住民の交流の場として、また、地域文化の発信の場として今日に至っています。



南郷文化祭

また、河井弥八翁記念館、希望の丘、陣場峠、東名高速掛川インターなど様々な地域資源があります。これらを記録に残し、学び伝えていくことは、私たちの責務です。

《具体的活動》

- ①南郷文化祭
- ②地域の歴史・文化の伝承
 - ・講演会等の開催
- ③地域住民の学びの場づくり
 - ・南郷よいところさがしなど



南郷よいところさがし「紙芝居上演」

第5章 防犯防災

安全・安心で住みよいまち南郷

①地域の課題

近年多発している高齢者への不法販売や振り込め詐欺、児童や女性等への変質行為、窃盗、薬物等の犯罪が身近にも発生しており、犯罪防止の取り組みが求められています。また、異常気象による自然災害や大地震により多くの人命や財産が失われ、災害時の対応や緊急時の備えが求められています。

犯罪や災害への備えは、行政に頼るだけでなく自助・共助による自主的な活動が重要であり、安全安心なまちづくりのために欠かすことはできません。

そのためには、住民自らが防犯防災に対する知識と備えについて意識を高め情報を共有し、向こう三軒両隣がともに助け・支えあう地域の絆づくりが必要です。



防災訓練

②部会ビジョン

～安全・安心で住みよいまち南郷～

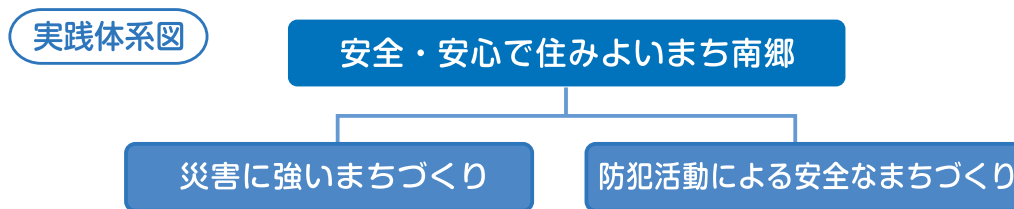
地域や家庭において、世代間のちがいでその役割が明確に表現できない昨今、住民一人ひとりのもつ温かいところが重なり合い、やがて地域に広がるよう隣近所での支え合う組織づくり、助け合いの仕組みづくりに取り組んでいく必要があります。それは、防犯防災にとって、共助となって働く大切な絆です。

深入りするとお節介だとか、個人情報保護法に



防災訓練 救護活動

抵触するとか、なかなかコミュニケーションが取り辛い世相の中、まずは向こう三軒両隣の隣組で、同じ地域で生活する者が日ごろから連絡、連携を保った絆づくりが防犯防災の要となります。そんな小さな隣組を南郷地区全体に築くことが、安全安心なまちづくりにつながる大切な要素です。



③ 目標及び具体的活動

災害に強いまちづくり

地震に対して自主防災として、災害対策をしてきましたが万全ではありません。大地震が想定されたり、原発や集中豪雨、竜巻など近年の気象変化にも、防災対策を考慮する必要が生じてきました。災害の知識と備え（家具の固定や住宅の耐震化等）は自助として大切です。

南郷地区では、危険個所や未耐震家屋、空家、一人暮らし高齢者などを記載したハザードマップや命の手帳（非常時連絡手帳）を作成することで、住民の防災や保安対策を検討します。そして、防災・減災マニュアルに基づく共助を、地区、区、組、隣組のそれぞれの役割を訓練し、被害を最小限にする取り組みを行います。

《具体的活動》

- ① 災害に対する意識の向上
- ② 災害ハザードマップと防災・減災マニュアルの作成
- ③ 命の手帳の作成

防犯活動による安全なまちづくり

南郷地区においても核家族化が進み、地域での繋がりも希薄になっています。交流と連帯を保つ地域環境を築くためにも、向こう三軒両隣で声掛運動を展開し、挨拶だけでなく健康や安否を気遣い、お互いに思いやりを持って暮らす社会が防犯に最も効果的です。また、自助努力として戸締りの徹底や、自分の屋敷や周辺も清掃し、犯罪者にスキを見せない工夫も必要です。

近年の犯罪の広域性や情報化により、犯罪などとは程遠く思われていた南郷地区においても、防犯を考える必要が生じてきました。青色防犯パトロール（青パト）や街頭見守り防犯は従来通り継続しますが、人手不足ですのでボランティアを増員する必要があります。また、地区内の隅々まで目が行き届くよう、住民参加の防犯対策も工夫しなければなりません。

《具体的活動》

- ① 声かけ運動の推進
- ② 青パトの充実
- ③ 登下校の見守りの実施

①地域の課題

私たちの住む南郷地区は、幹線道路が多く走り、交通量も年々増加しています。新しい住宅も増え、学童の通学路の整備や標識・看板の増設などが求められています。今後、ますます増加する交通量に対応する体制づくりが必要です。

②部会ビジョン

～無事故・無違反で明るいまち南郷～

人の生命・財産に関わる交通事故の防止に向けて、住民一人ひとりの交通安全意識の向上を図り、安全で安心して暮らすことのできる地域の実現を目指していかねばなりません。

交通ルールを守り、交通安全に関する教育や普及・啓発活動などを推進し、事故の無い明るい南郷地区を目指していきます。



交通安全県民運動街頭指導



親子交通安全キャンペーン

実践体系図

無事故・無違反で明るいまち南郷

目配りと気配りによる
安全なまちづくり

事故に遭わない起こさない
まちづくり

③目標及び具体的活動

目配りと気配りによる安全なまちづくり

南郷地区では、登下校時の児童生徒に対して、各自治会役員やPTA役員などによる交通安全、主要交差点での街頭指導などを実施しています。夕暮れ時から夜間の交通事故を防止するため、歩行者・自転車・自動車のすべてが、明るく・目立ち・光る「ピカッと作戦」を実施していきます。

《具体的活動》

①児童生徒の登下校指導

②ピカッと作戦の推進

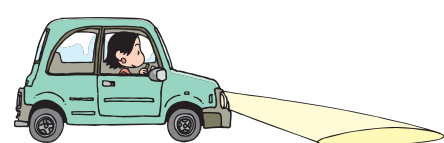
- ・自発光式反射材の着用促進
- ・早めのライトオンの励行

歩行者の方は



自発光式反射材の着用を！

ドライバーの方は



早めのライトオンで交通事故防止！

事故に遭わない起こさないまちづくり

交通事故に遭わない、起こさないためには、幼児から高齢者に至るまでの交通安全意識の向上を図ることが必要です。また、地域の道路・交通状況等に応じた取り組みがより重要となります。

交通に関わる危険箇所などを調べて「安全安心マップ」を作成し、また交通安全教室を開催して地域住民の事故防止に努めます。

《具体的活動》

- ①交通安全意識の向上
- ②安全安心マップの作成
- ③交通安全教室の開催
 - ・自動車、自転車シミュレーター体験など



自転車安全運転講習会

第7章 環境美化

美しい環境の安らぎのあるまち南郷

①地域の課題

南郷地区は、掛川駅や東名インターに近いという利便性も加わって大きく発展してきたまちです。立地条件の良さだけでなく、住み心地の良く感じる快適な生活環境を作ることが大切です。

ごみの分別はまだ十分ではなく、道路や空き地へのごみ捨ても見られ、まちには花が多いとはいえません。

住民の身の回りの生活環境を良くしていくことは、快適さにつながる大切な要素であり、取り組むべき課題です。



環境パトロール

②部会ビジョン

～美しい環境の安らぎのあるまち南郷～

住民が期待するまちの環境とは、一見して道路も公園も住宅街も清潔で美しいと感じることです。ごみの落ちていない清潔な環境や人々に潤いや安らぎを与える花のある環境づくりが大切です。

美しい環境は、それに携わった人のみならず、それを見た人の心にやさしきや幸せな気持ちを与えます。清潔で、美しい環境づくりに取り組むなかで、人に喜びや幸せ感を感じさせられるような安らぎのあるまちづくりを目指します。



プランター設置

ごみゼロのまちづくり

花いっぱいのまちづくり

支え合う環境美化の
まちづくり

③ 目標及び具体的活動

ごみゼロのまちづくり

単に、ごみを散らかさないに留まらず、ごみの分別、資源ごみの徹底回収、不用品交換やリサイクルの推進に心がけ、地球温暖化対策やCO₂削減に向けて取り組んでいきます。地域が一斉に活動するごみゼロの日を設定し、子どもも含めてみんなで取り組み、ごみゼロの環境を目指します。

《具体的活動》

- ① 毎月1回 ごみゼロ運動の推進
- ② 家庭ごみ分別の周知徹底

花いっぱいのまちづくり

南郷地区には、公園が多い、緑が多い、静かであるなどの自然環境のよさがあります。一方で花と緑の明るい地域、花ロード、花いっぱいの公園などを望む声も多くあります。

「美しい地域には美しい心が宿る」ともいわれるように、更なる潤いのあるまちづくりを目指して、花いっぱい運動を推進していきます。

《具体的活動》

- ① 花フォトコンテストの実施
- ② 公園花壇の整備
- ③ 学習センター、各区公会堂等にプランター設置



公園花壇の整備

支え合う環境美化のまちづくり

高齢者世帯や一人暮らし高齢者などの家庭で、自分では敷地内の樹木の枝払いや雑草の草刈りのできないお宅があります。温かく手を差し伸べ、枝払いや草刈りのお手伝いをし、すがすがしい環境の中で生活できる支援をしていきます。

《具体的活動》

- ① 高齢者世帯などへの枝払いや草刈り支援
- ② 環境パトロールの実践

①地域の課題

南郷地域生涯学習センターでは、地域住民の憩いの場、交流の場、学びの場となるように諸活動を推進しています。地域の住民が健康長寿で生きがいを持ち、充実した暮らしができるように学び続け、一人ひとりが自分の好きなところ、得意なところに参加・参画して、誇りと愛着を持てる郷土にすることが大切です。

そして、地域がよりいっそう住みやすく、立派で豊かになることで、私たちの人生も豊かになることが期待できます。そのためには、学んだことを、まちづくりに生かすことが出来る人材の育成が大きな課題です。

また、女性もまちづくりに積極的に参画し、女性の視点・特徴を生かしたまちづくりが求められています。



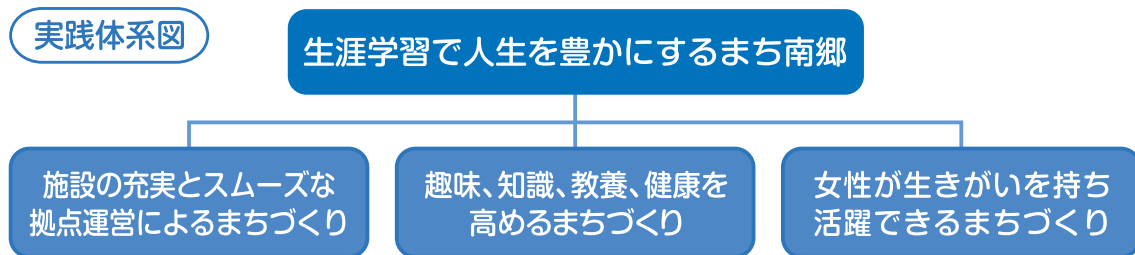
夏休み親子自由研究

②部会ビジョン

～生涯学習で人生を豊かにするまち南郷～

生涯学習活動の目的は、地域住民の学びを育て、学びによって自己を高めた住民一人ひとりが、学んだことを自分たちの住む地域を豊かにするために生かすことで、自分たちの人生そのものも豊かにすることです。

そのためには、学びによって自己を高めた住民が、さらにまちづくりに参画していくための「活躍の場づくり」を進めることで、「まちづくり」と「ひとづくり」の一体的推進を図ることができます。



③目標及び具体的活動

施設の充実とスムーズな拠点運営によるまちづくり

まちづくりの推進拠点として、スムーズに諸活動が行えるように、施設の環境整備や運営上の改善などを実施していきます。

《具体的活動》

- ①施設・事務の管理
- ②センター活動の運営管理
- ③センタークリーン作戦

趣味、知識、教養、健康を高めるまちづくり

自由時間を活用して豊かな生活を送るために楽しむ活動やパソコン教室、視察研修などの活動、また、健康教室やウォーキングなど生涯を通じて幸せに暮らせるための健康づくりを積極的に推進していきます。そして、地域をより良くするための活動の担い手の育成など、まちづくりにつながる活動を実施していきます。

《具体的活動》

- ①文化部サークル活動
- ②体育部サークル活動
- ③南郷芸能祭



南郷芸能祭

女性が生きがいを持ち活躍できるまちづくり

女性が暮らしの中から課題を見つけ、共に学習をし、教養と生活を高めるとともに、親しい仲間づくりを進めることをとおして、住み良いまちづくりと男女共同参画社会の形成を目指していきます。学習活動と住みよいまちづくりを進める女性学級の地域活動は、その中核として推進していきます。

《具体的活動》

女性学級による活動

- ①環境美化活動
- ②エコ活動
- ③自己啓発活動



女性学級「健康講座」

専門部紹介

文化部（18サークル）

- ・さつき会（民謡）・サウスダックス（カラオケ）・吟友会（詩吟）・みどりの風（コーラス）・ブルメリア（フラダンス）
- ・ひまわり（社交ダンス）・ゆったりヨガ（ヨガ）・南郷ヨガ（ヨガ）・楽（らく）ヨガ・南郷楽勝会
- ・囲碁将棋クラブ・茶道クラブ・百人一首カルタクラブ・時の会（時事問題研究）・南郷桔梗句会（俳句）
- ・南郷短歌会（短歌）・毛筆クラブ（習字）・書道教室（幼児・小、中学生・大人）

体育部（5サークル）

- ・ハイキングクラブ・シニアスポーツクラブ（輪投げ）・グランドゴルフクラブ・ユニカール掛川支部・南郷スクエアステップ（歩く脳トレ）

第9章 計画の実現に向けて

人口減少や超高齢化、そして厳しい経済情勢により市の税収が減少する中で、行政だけでは大規模災害に備えた防災や交通安全、次世代を繋ぐ子育てや環境問題、健康で安心した暮らしを守ることは困難になってきています。

そこで、地域の人たちが自分たちの住む地域を、魅力的で住みやすい地域にしていくためのネットワーク化と絆づくりを確かなものとし、効率的・広域的・発展的な地域づくりを展開していくことが必要です。そうした客観的状況を踏まえ、掛川市は平成25年4月に掛川市自治基本条例を施行し、その前文で「市民は自らの意志でまちづくりに参加し、市とともにみんなで支え合う新しい公共社会構築の必要性」が示されています。具体的には、第5章協働によるまちづくり第24条2項に「地区は、まちづくりに関する計画を策定し、その区域内における公共的課題について調整を行い、解決を図るとともに、市と連携を図りながらまちづくりを総合的に推進するものとする」と規定されています。

このため、南郷地区ではその趣旨に沿って、南郷地区まちづくり協議会を設立し、まちづくり計画を策定して協働のまちづくりをスタートさせました。

1 自らの地域の将来は自ら決める仕組みづくり

①地域で考え、行動し、実現する仕組み

まちづくり（地域づくり）や、地域課題の解決に向けては、地域のことを一番良く知っていて、地域に責任を持っている地域住民が主体となって、自らの地域の将来の姿を自ら決め、行動していきます。

②地域の総意を反映する仕組み

まちづくり計画の策定にあたっては、地域住民が一体となって地域の事を考えることが大切であり、そのために地域内における各種団体・組織・企業・住民が連携して進めます。

2 地域内分権の推進

①地域課題を解決するための仕組み

市民のニーズが、多様化・複雑化し、地域における諸課題が増加する中、少子高齢化による人材不足に対応するため、地域内の様々な団体・組織などとの連携による支え合いの地域運営を進めます。これからの地域運営においては、区長会や地区福祉協議会等の既存の組織を中心にしながらも、PTA、消防団、NPO、企業など、地域の各種団体の連携による地域力を結集した深みのある組織体制を構築し、みんなで地域課題を解決しながら、地域自らの主体的意思に基づくまちづくりを進めます。

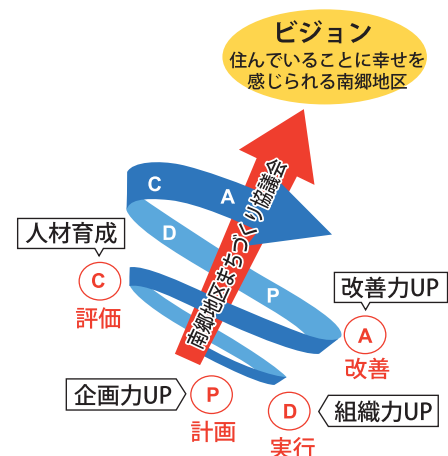
②個人の資質のみに頼らない仕組み

事業の継続性を図る必要から、地域全体の連携による仕組みづくりを構築することで、地域住民が地域課題や将来像を共有し、特定の個人の資質のみに頼らないまちづくりを進めます。

3 PDCA サイクルによる評価・改善

まちづくり計画を着実に進めるため、PDCA [Plan (計画) → Do (実行) → Check (点検・評価) → Action (修正・改善)] による計画実現サイクルを継続的に実施し、ビジョン達成を図ります。

南郷地区の新しいまちづくりは、まだ緒に就いたばかりです。区民の一人ひとりが手を携え、思いをひとつにしてまちづくりに関わることで、私たちが目指す、住んでいることに幸せを感じられる南郷地区の実現が、より身近なものになります。



参考資料

参考資料

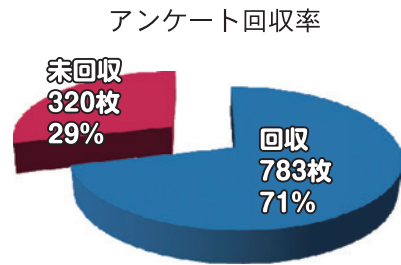
- 1 「南郷地区まちづくりアンケート」集計結果
- 2 南郷地区まちづくり協議会の設立経過
- 3 南郷地区自治組織の相関図
- 4 南郷地区まちづくり協議会組織図
- 5 施策体系図 ～ビジョンと実践目標～

■調査の目的

「南郷地区まちづくりアンケート調査」は、南郷地区まちづくり協議会設立に際して、住民の地区に対する現状認識や地区として取り組むべき課題などをどのように考えているかを調査し、「南郷地区まちづくり計画」の策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。

■調査の方法

| | |
|------|-----------|
| 対象者 | 南郷地区の戸建世帯 |
| 実施時期 | 平成26年10月 |
| 配布数 | 1,103枚 |
| 回収数 | 783枚 |
| 回収率 | 71% |



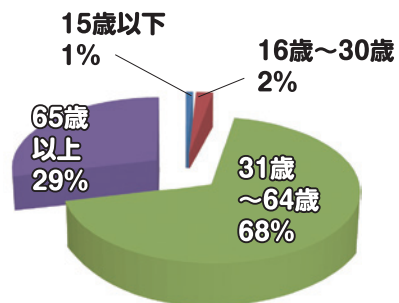
考察

南郷地区は8自治区（アンケート実施時）で構成されていますが、最も高率だった自治区は90%、最も低率だった自治区は50%、平均は71%。古くからの住居者が多い5自治区は、72%~90%と高率。新しくできた自治区は50%~57%と平均を下回り、地域コミュニティに対する意識が、新・旧で分かれています。

■アンケート調査結果

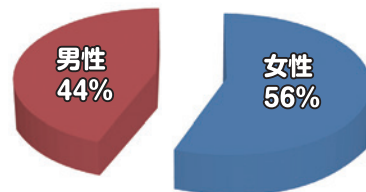
問1 年齢

| 年齢 | 人数 | 割合 |
|---------|------|------|
| 15歳以下 | 7人 | 1% |
| 16歳~30歳 | 16人 | 2% |
| 31歳~64歳 | 535人 | 68% |
| 65歳以上 | 225人 | 29% |
| 合計 | 783人 | 100% |



問2 性別

| 性別 | 人数 | 割合 |
|----|------|------|
| 女性 | 437人 | 56% |
| 男性 | 346人 | 44% |
| 合計 | 783人 | 100% |

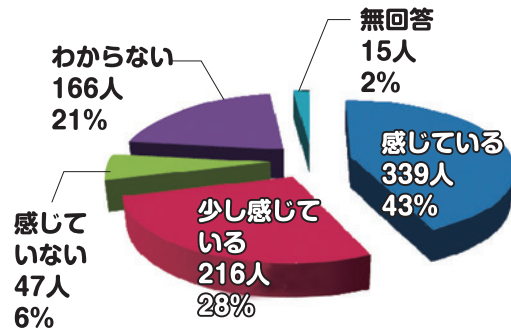


考察

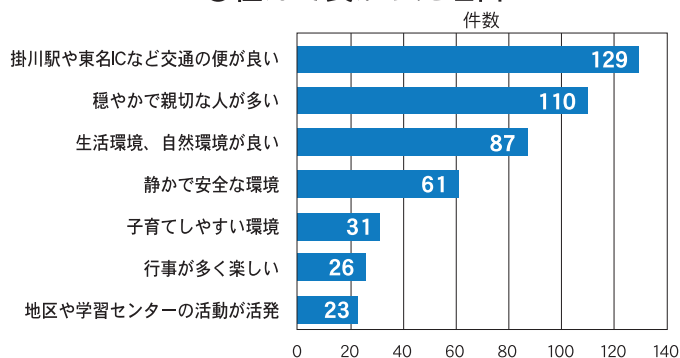
- ①回収割合が最も高かったのは、働き盛りの31歳~64歳。子育てを含む、地域環境への意識が高い。65歳以上の、高齢者についても29%と全体の約1/3を占めています。30歳以下の若い世代は3%、特に15歳以下が7人で1%あったことは、義務教育世代も関心があることが分かります。
- ②性別では、女性56%、男性44%とほぼ均衡したが、地区内における活動状況から見ても、女性の方が地域に対する意識と関心が高いことが裏づけられています。

問3 南郷地区に住んでいて良かったと感じていますか。

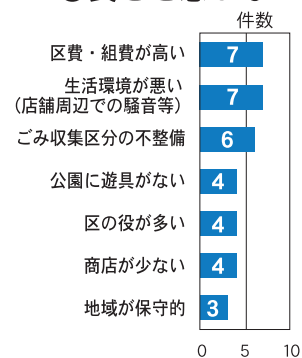
| 選択項目 | 人数 | 割合 |
|---------|-----|------|
| 感じている | 339 | 43% |
| 少し感じている | 216 | 28% |
| 感じていない | 47 | 6% |
| わからない | 166 | 21% |
| 無回答 | 15 | 2% |
| 合計 | 783 | 100% |



●住んで良かった理由



●良さを感じない理由



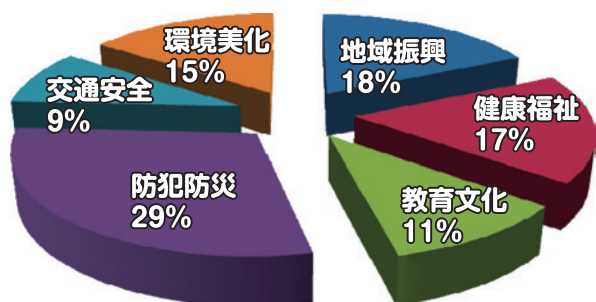
考察

南郷地区に住んでいて良かったと「感じている」と「少し感じている」を合わせると、区民の7割強の方が良かったと感じています。理由として、交通の利便性や穏やかな人柄を上げている人が多い。「良さを感じない」については、「良さを感じている」件数の約1/10と僅かですが、今後の検討課題です。

問4 南郷地区の課題・要望の分野

| 選択項目 | 件数 | 割合 |
|------|-----|------|
| 地域振興 | 134 | 18% |
| 健康福祉 | 130 | 17% |
| 教育文化 | 81 | 11% |
| 防犯防災 | 218 | 29% |
| 交通安全 | 67 | 9% |
| 環境美化 | 113 | 15% |
| 合計 | 743 | 100% |

(1人で複数回答あり)

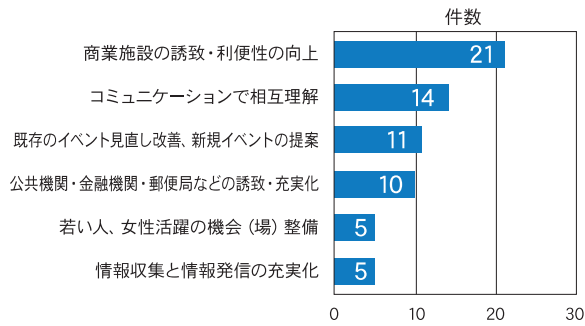


考察

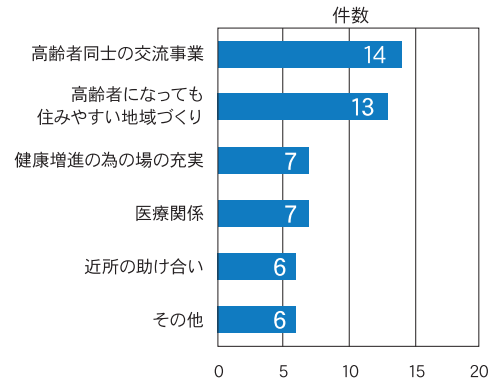
南郷地区をさらに住みやすくするための課題や要望についての意見の件数を分野別に比較すると、防犯防災分野が29%と最も高く、地震・原発などへの意識や関心が高いことが分かります。今後、南郷地区まちづくり協議会としても重要課題として取り組んでいきます。地域振興や健康福祉の分野についても、18%、17%と関心が高く、より地区に根差した活動が求められています。環境美化は15%、教育文化は11%、交通安全は9%となっています。分野別の具体的な取組課題や要望などについては、次ページのグラフに示します。

分野別の課題・要望項目

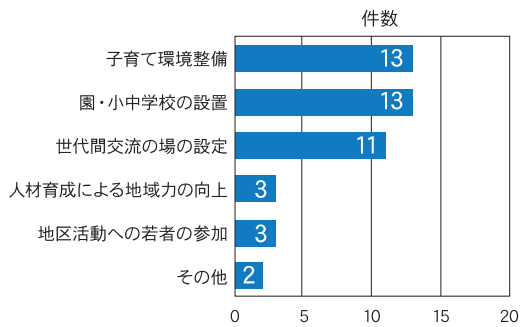
地域振興



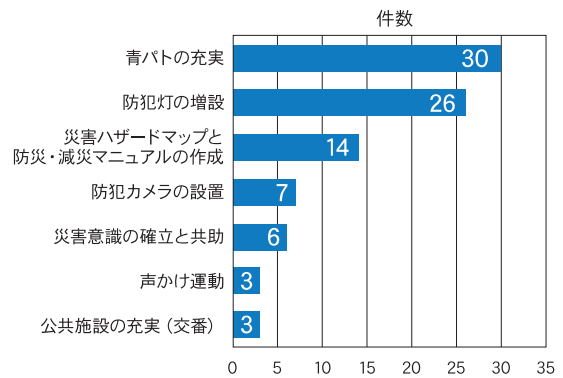
健康福祉



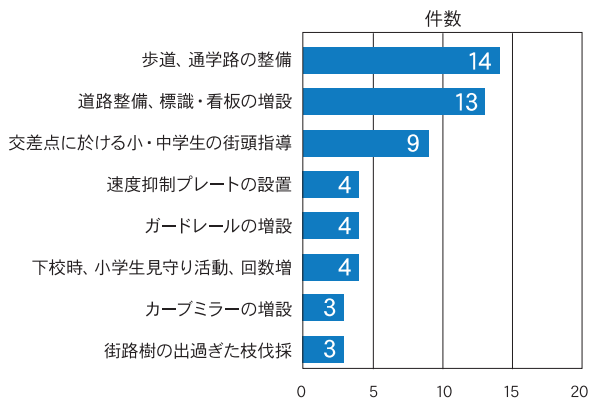
教育文化



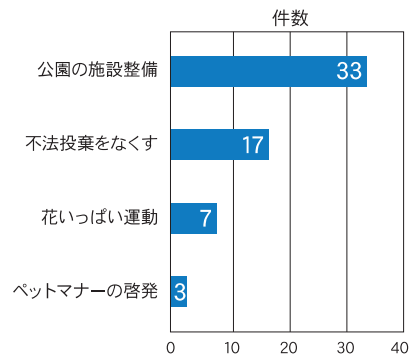
防犯防災



交通安全



環境美化



| 年 | 月 | 日 | 項目 | 内容 | |
|-----------|-----|-----|------------|--|-------------------------------|
| 平成 25年 | 12月 | 24日 | 第1回世話人会 | 世話人会立ち上げの趣旨説明と承認 まちづくり協議会の設立趣旨と進め方説明 構成図、組織図、部会制の説明 設立までのタイムスケジュール | |
| | | | | 5日 | 第3回南郷地区新年の集い |
| 平成 26年 | 1月 | 26日 | 第2回世話人会 | 規約の素案検討 各部会の人員構成、事業の検討 役員交替と設立準備委員会の立ち上げ 準備委員会・協議会設立のタイムスケジュール | |
| | | | | 2月 | 8日 |
| | 5月 | 24日 | 第1回設立準備委員会 | 掛川市自治基本条例の説明 まちづくり協働推進条例策定の説明 南郷まちづくり協議会設立の説明（世話人会報告） 設立までのタイムスケジュール説明 モデル地区ノミネートの承認 | |
| | 6月 | 28日 | 第2回設立準備委員会 | モデル地区指定の決定報告 牧之原市坂部地区のDVD視聴 構成図、組織図、部会制の確認 実施事業についての説明（既存、新規） | |
| | | | | 30日 | ふれあい南郷第95号への掲載 |
| | 7月 | 26日 | 第3回設立準備委員会 | 構成図、組織図の再確認 部会の役割分担 実施事業（既存事業の棚卸し、先進地事例、新規事業） 規約の協議 | |
| | 8月 | 30日 | 第4回設立準備委員会 | 各部会の役員確認（部長・書記） 地域内分権の説明 部会ビジョンの策定、実施事業について継続協議 棚卸事業の再検討と課題事業の検討 | |
| | 9月 | 14日 | 27日 | 第5回設立準備委員会 | 準備委員会の設立と取り組み状況について紹介 |
| | | | | | 地域内分権の説明 棚卸事業の再検討と課題事業の再検討 |

| 年 | 月 | 日 | 項目 | 内容 |
|-----------|-----|------------|---|--|
| 平成 26年 | 9月 | 27日 | 第5回設立準備委員会 | 地区の課題把握に向けたアンケート調査の実施 規約について意見集約 |
| | 10月 | 25日 | 第6回設立準備委員会 | アンケートの回収結果 部会ごとの検討状況報告と今後の取扱い 規約の決定 |
| | | | | 部会の実施事業について検討と確認 部会ビジョン・実施目標・具体的活動についての纏め 若い人+女性委員の推薦依頼 先進地の視察案内 |
| | 11月 | 20日 | 南郷まち協かわら版第2号発行 | アンケート回収結果の報告 |
| | | 29日 | 第7回設立準備委員会 | 部会ビジョン・部会まちづくり計画の再検討とまとめ ビジョンのイメージ図説明 アンケートのコメント事項のまとめ方 |
| | 12月 | 12日 | 先進地視察 | 三重県松坂市の朝見まちづくり協議会と松ヶ崎 まちづくり協議会視察 参加者34名 |
| 23日 | | 第8回設立準備委員会 | 先進地視察の感想と意見交換 部会ビジョンを含む各部会のまちづくり計画のまとめ 総会資料作成に向けた各部のビジョン作成理由と課題 | |
| 平成 27年 | 1月 | 24日 | 第9回設立準備委員会 | まちづくり計画書の内容確認 設立総会に向けての準備 |
| | | 28日 | ふれあい南郷第96号への掲載 | 南郷地区まちづくり協議会の設立総会に向けて 組織構成、まちづくり計画、総会開催日の確認 |
| | 2月 | 14日 | 南郷地区まちづくり協議会設立総会 | まちづくり計画、規約、役員、事業計画、収支 予算の5議案を決議 記念講演：静岡大学人文社会科学部教授 日詰一幸氏 演題「協働のまちづくりが目指すもの」 |

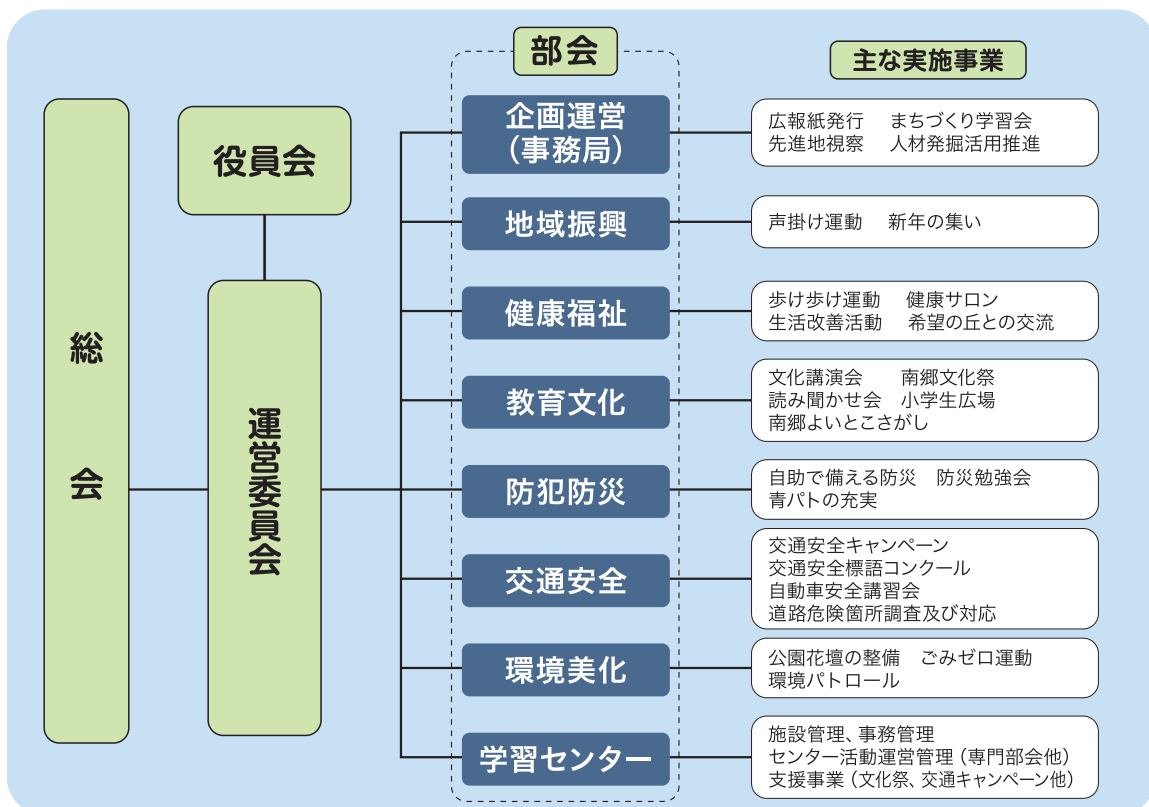
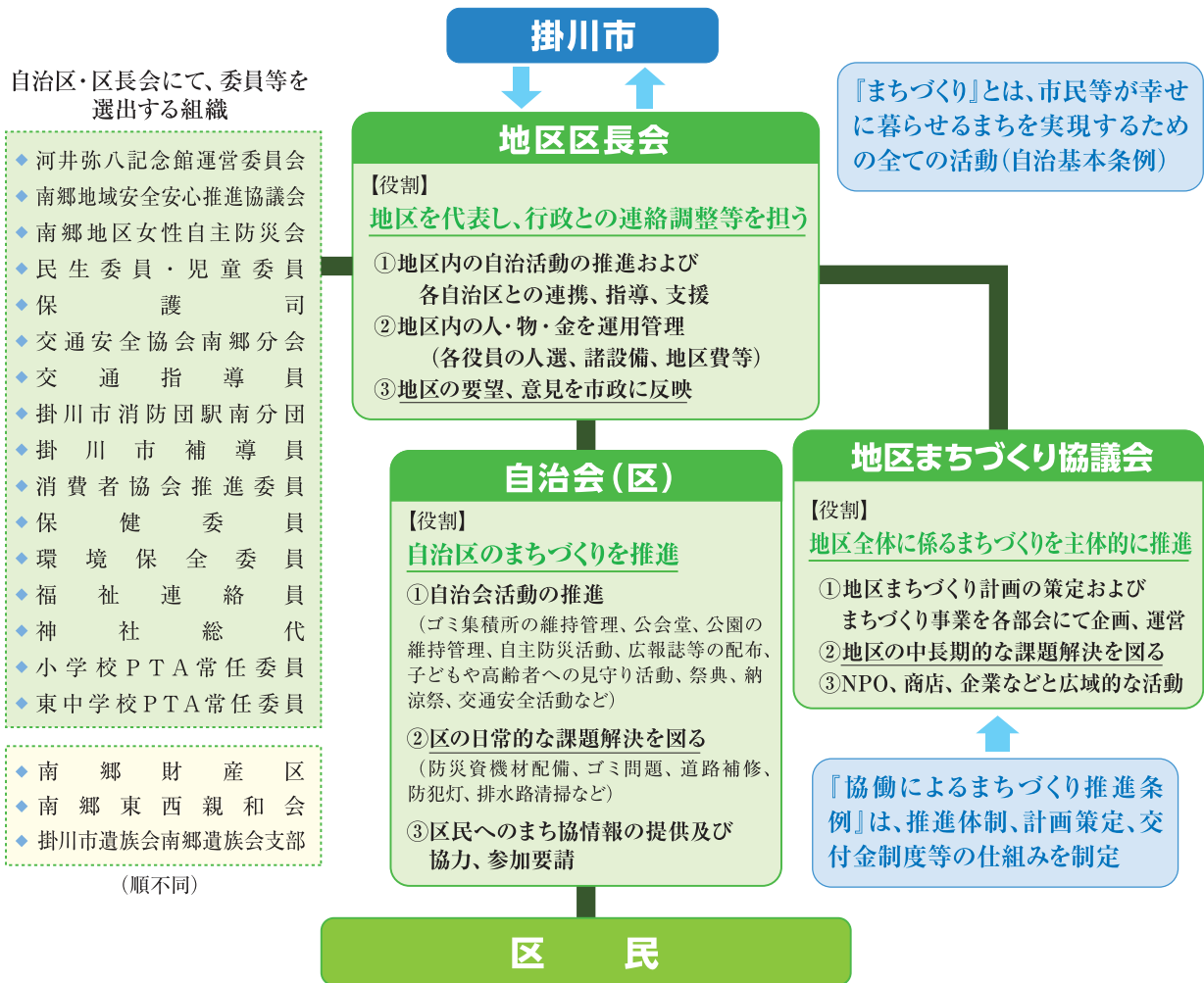
※上記の準備委員会の他、各部会がそれぞれ数次にわたり協議を重ねてきました。



南郷地区まちづくり協議会設立総会



ワークショップ風景（設立時）



地区ビジョン：住んでいることに幸せを感じられる南郷地区

| 部会 | 部会ビジョン | 実践目標 | 実施事業（具体的活動） |
|--------|--------------------|-------------------------|---|
| 企画運営 | 絆と生きがいづくりのまち南郷 | 豊かな情報、素早い周知のまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 広報紙「ふれあい南郷」の発行 区民に親しまれる「ふれあい南郷」の内容充実 ホームページにて情報発信 |
| | | スムーズな組織運営によるまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会各部会との連携強化 まちづくりについての学習会や講演会の企画 先進地研究や自己研鑽 |
| | | 人材の発掘と協働による未来につながるまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 人材の発掘と活用 まちづくり活動への参加者拡大のためのPR活動 |
| 地域振興 | あいさつと笑顔が溢れるまち南郷 | あいさつで築く明るいまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> あいさつの先取り 登下校の小中学校生にあいさつの積極的な声かけ |
| | | ふれあいの場づくりによる心豊かなまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 新年の集い 子ども・女性や若い世代の育成 |
| | | みんなで築く住みよいまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 小委員会の設置 公園の活性化 |
| 健康福祉 | 健康長寿で役立ち合い支え合うまち南郷 | いきいき健康づくり | <ul style="list-style-type: none"> 身近な場所で楽しみながら健康増進体操の実施 誰でも親しめるスポーツの普及と促進（歩け歩け運動など） 健康維持・生活改善の啓発活動の実施 |
| | | 支え合う仲間づくり | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者同士の交流の場として健康サロン（脳トレ）の実施 希望の丘との交流 |
| 教育文化 | 学び高め合い伝え合うまち南郷 | 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 子どもと大人の交流の場づくり 子どもたちが自ら担う場づくり |
| | | 地域の歴史・文化を学び伝えるまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 南郷文化祭 地域の歴史・文化の伝承 地域住民の学びの場づくり |
| 防犯防災 | 安全・安心で住みよいまち南郷 | 災害に強いまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 災害に対する意識の向上 災害ハザードマップと防災・減災マニュアルの作成 命の手帳の作成 |
| | | 防犯活動による安全なまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 声かけ運動の推進 青パトの充実 登下校の見守り実施 |
| 交通安全 | 無事故・無違反で明るいまち南郷 | 目配りと気配りによる安全なまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の登下校指導 ピカッと作戦の推進 |
| | | 事故に遭わない起こさないまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の向上 安全安心マップの作成 交通安全教室の開催 |
| 環境美化 | 美しい環境の安らぎのあるまち南郷 | ごみゼロのまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 毎月1回ごみゼロ運動の推進 家庭ごみ分別の周知徹底 |
| | | 花いっぱいのまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 花フォトコンテストの実施 公園花壇の整備 学習センター、各区公会堂にプランター設置 |
| | | 支え合う環境美化のまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者世帯などへの枝払いや草刈り支援 環境パトロールの実践 |
| 学習センター | 生涯学習で人生を豊かにするまち南郷 | 施設の充実とスムーズな拠点運営によるまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 施設・事務の管理 センター活動の運営管理 センタークリーン作戦 |
| | | 趣味、知識、教養、健康を高めるまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 文化部・体育部サークル活動 南郷芸能祭 |
| | | 女性が生きがいを持ち活躍できるまちづくり | <ul style="list-style-type: none"> 環境美化・エコ活動 自己啓発活動 |

南郷地区まちづくり協議会

Nangou area master plan

～住んでいることに幸せを感じられる南郷地区～

発行日：平成27年2月14日 暫定版

平成27年4月1日 第1版

令和4年4月1日 第2版

編集・発行：南郷地区まちづくり協議会

〒436-0022 静岡県掛川市上張192番地の1

TEL&FAX 0537-23-0324

Eメール nangou@shirt.ocn.ne.jp

南郷地区のまちづくり



Think globally, Act locally!

(広い視野で考え、地域づくりを進めよう)

できることから楽しく始めましょう!